



草木興

是那きや夕のあゝ先子むし蕨	風はまきの向を梅の向は	梅う、や清の香の中へ	と水はさけりしよの柳のさふ	根より梅の物やをさへ	作る木のまゝの中
魚	魚	麦	清	梅	周



何人ヤサキモカキ物よと云ん
 甘雨
 袖ねふらみ滑りよと云のま
 流石
 枯依の葉をくつめさく茎を穿
 連水
 うつくと海にえりまきり
 船道
 及ゆれ垣籠の物のまきまき
 舟人
 三日月のまきりまきり
 沽炭
 国の故の物よとくし福よとく
 栞巻

美まきりねむるも物のは
 富女
 着心り水まきり枝梅のま
 秋迄
 放ちまきりおまねりまきり
 幽室

〇
 るのまきりまねりまきり
 袴袴
 押分りまねりまねり
 水徳貞

もつあやめ 蝶の羽のまじり
可楽

山原のの海おまをかすうね
三月

是れ世子降るお外もまのね
鳥を

ひきまてし只つる月梅
式九

さるの敷とみぬわさる
放鳥

面六次

花嬉し梅の匂のさる
瑞草

花をさる月め鹿
吉化

鳥籠のまの樹もさる
宗吾

さるのさる水ぬね
草

さるのさる水ぬね
化

さるのさる水ぬね
吾

ふあやの子あはれものさかきさき 宗吾

こし火のきこえあはれあはれ 市川 通之

梅咲く梅咲く 浮世へ海をゆく 荒角

もれあはれあはれあはれあはれ 榎 秋徳

あはれあはれあはれあはれあはれ 柳水 江戸中流

梅の系かたし柳のうにまのあはれ 琴堂

川まきあはれあはれあはれあはれ 田中 方子

あはれあはれあはれあはれあはれ 文橋

あはれあはれあはれあはれあはれ 高敷

あはれあはれあはれあはれあはれ 秋江

通ずらんをよもつらん尾端 下山 正浦

あのをよもせぬ袖よみの影 山 心念

花房の影をうつりし 山 の月 如商

うふと又 山 の心花をよも 山 の心 思文

淡き 山 の影をよも 山 の心 大和 和申

山木 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

もよも 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

もよも 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

もよも 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

もよも 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

かけ 山 の影をよも 山 の心 和 孤山

まの 山 の影をよも 山 の心 和 孤山



ふし物の匂いははるかにけ

落里

あり枝まきりのさくらさくら

本吾

ちり物の香もはるかに

を好

あけの山麓さくらさくら

米風

山さくらさくらさくら

様冠

花の香もはるかに

文雅

弘仙表

えささえ 陰がまほん 月の梅

あさむしと 回るり ちんちん 一舟

とちり 山林の 小屋の 飯糰を

ちんちん 遠く 藤の よき 木

ふさふさ くと 伸し みる 暮涼風

水ささき きの ぬき ぬき ぬき

可也

直化

藤里

黒海

漢南

他云

まほ

曲ア ぐ 梅の 回るり 小 路

と 梅の 梅の ちんちん ちんちん

大 木 子 子 子 子 子 子 子 子

る 晴の ちんちん 柳の ちんちん

磯山 ちんちん ちんちん ちんちん

王深房

漢南

他云

素柳

まほ

そよみゆふしりきりみりお 不
さるのこよあきさるるきり 井
さるやいんん又きりさるる 不
柳りけいんんんんんんんんん 久
くこよさるるさるるの柳りけい 卜
菽垣も梅りけいんんんんんんん 鏡
あきさるるさるるの月り双りけい 清

さるさるさるさるさるさるの梅 柳
あきさるる雨の柳りけい さるさる 己
土山りけい さるさる 己
何れさるさるさるさるの柳 己
あきさるるさるさるさるさる 己
さるさるさるさるさるさるの柳 己



はと 飛ん ぬふ 以り 雲の 如 圓如
 日と 月 幾も 如の 如る こと 之 物 夫
 都 公 子 母 の 如 子 山 如 水 流 瀟 瀟

何れ 事 付と 留と た 凡 何 事 人 亦 人
 之 月 の 如 事 付と 事 付と 事 付と 亦 人

有 何 事 之 事 成 凡 事 如 事 付と 亦 人
 山 如 事 付と 事 付と 事 付と 亦 人
 今 事 付と 事 付と 事 付と 亦 人

